

## 第 66 回 美都地域協議会 議事録

開催日時	平成 29 年 3 月 24 日 (金)・午後 2 時 00 分～午後 3 時 25 分			
開催場所	美都総合支所 第 1 会議室			
委員出席状況	委員総数	10 名	出席委員数	5 名
会議録署名委員	梅津富美子 委員・小川美知子 委員			

### 【報告事項】

- ・平成 29 年度美都総合支所予算について                      ……(資料 1)
- ・支所のあり方について (ご意見)                                 ……(資料 2)

### [地域づくり推進課]

- ・地域づくりコーディネーター活動報告                      ……(資料 3)

	氏 名		出欠	氏 名		出欠
	協議会組織構成員	会 長	大 石 康 人	出	委 員	杉 島 逸 朗
委 員		潮 榮	欠	委 員	田 中 綾	欠
委 員		梅 津 富美子	出	委 員	田 中 宜	欠
委 員		小 川 美知子	出	委 員	土 佐 則 幸	出
委 員		木 原 元 和	欠	委 員	広 兼 重 継	出
地区振興センター		東仙道	野 村 達 也		都 茂	河 野 敏 弘
	二 川	小 原 美智子				
事務局	支所長	加 藤 浩 司		住民福祉課 課 長	吉 野 聡 子	
	地域づくり推進課 課 長	梅 津 明 則		建 設 課 課 長	松 崎 徹	
	住民福祉課 課長補佐	坂 本 大 学				

## 第 66 回 美都地域協議会 会議次第

日時：平成 29 年 3 月 24 日（金）  
午後 2 時 00 分～  
場所：美都総合支所 2 階 第一会議室

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 支所長あいさつ
4. 議 事

### 【報告事項】

- ・平成 29 年度美都総合支所予算について ……(資料 1)
- ・支所のあり方について（ご意見） ……(資料 2)

### 〔地域づくり推進課〕

- ・地域づくりコーディネーター活動報告 ……(資料 3)

5. そ の 他
6. 閉 会

次回開催 平成 29 年 月 日 ( ) 時 分 於： \_\_\_\_\_

次 第	内 容
1. 開 会	<p>(事務局)改めましてこんにちは。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。今年度最後となりましたが第 66 回の美都地域協議会を開催させていただきます。それでは最初に会長さんのほうからご挨拶をお願いします。</p>
2. 会長あいさつ	<p>(会長)みなさんこんにちは。年度末で大変お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。お見かけのように前回からお休みの方が多く、大変申し訳ないと思っておりますが、せめて昨日までにわかっていたら延期するなどの方法もあるのですが、前回もその日になって連絡があったりということで、結局延期できませんでしたが、我々の任期の最後でもございますし、最後に年度末に開催する予定でございましたので、開催させていただきました。出席いただきまして、ありがとうございます。本日はお手元にありますように、報告事項ということでございますので、よろしく願いいたします。我々が平成 16 年からやってまいりまして、地域協議会では諮問に係る答申が 2 回。意見書や要望書の提出が 2 回。というようなことが今日まであったような気がしております。29 年度の予算も今現在も議会でございまして、27 日が最終日のようでございます。また、今日も異動の内示があるようでございますので、職員の皆様方は大変お忙しいと思っておりますけどよろしく願い致します。それでは事務局をお願いします。</p> <p>(事務局)ありがとうございました。続いて支所長より挨拶申し上げます。</p>
3. 支所長あいさつ	<p>(事務局)お世話になります。なんとか 5 人おられるので、会議が成立しました。今日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。今日は報告事項等が中心でございますけど、その他のところで、報告できるようなことはできる範囲で話をしていきたいと思っております。貴重な時間でございますので、皆様方の意見をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>(事務局)それでは議事に入りますので、会長さん進行をお願いいたします。</p> <p>(会長) 本日は ●欠席者：潮委員、木原委員、杉島委員、田中綾委員、田中宜委員 ●議事録署名：梅津委員、小川委員</p>
4. 議 事 【報告事項】 ・平成 29 年度美都総合 支所予算について	<p>それでは始めていききたいと思います。まずは報告事項の 29 年度の予算についてを事務局説明をお願いします。</p> <p>(事務局)前回の時もこの予算について少しご報告をさせていただいたところですが、出席者が少なかったということで、再度説明させていただきます。前回のところで 29 年度当初予算の概要を支所長の方から市全体の予算枠について簡単に説明したところでございますが、一般会計の当初予算としまして、市全体としては</p>

241億4800万円という予算額となっております。その中で資料1をご覧ください。こちらが美都総合支所の全体枠の予算でございます。上段のところに総括表がございますけど、左から28年度の当初予算、真ん中が29年度当初予算要求、右側が比較と見ていただいたらと思います。28年度の支所全体の事業費としまして、4億835万円でございます。29年度全体の予算額は5億1673万6千円で、今年度5838万6千円の増という状況になっております。各課の予算状況につきまして大体のところを載せておりますが、この詳細については各課より報告させていただきたいと思っております。では、地域づくり推進課の方からお願いします。

(事務局)説明させていただきます。予算につきましては市の方からシーリング枠ということで支所の方もシーリングが掛かっております。その予算の範囲内ということでもありますけど、そうはいいながらも有害鳥獣対策とか、温泉の管理とか、主要としてやらなければならないものについては財源を確保しながら、補助金等も若干見直しをして、本年度の予算組をして議会にご審議をいただいているところでございます。特徴的なところを申し上げますと、二川小学校跡地の活用について補正対応ということでございます。29年度につきましては550万くらい予算要求をして設計業務を行うというストーリーで臨んでおります。それにかかる部分で市役所内部で会議にも諮りながら関係部署のご意見も頂きました。昨年当初の段階から二川小跡地の活用については地元との話だとか具体的な管理の方法について話し合いをするように市長の方から話がありまして、私のところで、地元の自治会なり、地域自治組織の設立準備会にもかけながらお話をしているところでございます。そういったことを受けて28年度は整理をして、具体的な予算要求をいたしましたけれども、国の交付金もまだ決定されていないということで、決定後は予算要求をするということでございます。また、一方では事業の熟度を高めるということが求められていますので、これについては引き続き地元と協議を進めていきたいと思っております。29年度に設定いたしまして、30年度に施行というような感じで計画しているところでございます。

それから、自然環境整備地域自主戦略交付金事業、これは双川峡の落石防止の工事の関係でございます。28年度で1千万の要求をいたしまして、実は繰り越し事業ということで、29年度に繰り越すということでございますので、事業としては継続的に行っていますが、予算的には28年度の繰越金ということです。地元からいち早く双川峡の滝が見たいということで電話などが殺到するわけですけど、まだ人が入る状況にならないということで通行止めをしております。28年度の繰越しをする実施場所は、駐車場から橋を渡って鉄の橋に行くまでの法面のところの石をどける作業をやろうと思っております。全体総事業費2億5千万くらいの事業でございます。もう少し時間がかかるということで周囲の方々にはご迷惑をかけますが、少しご辛抱していただきたいと思っております。

それから温泉管理費でございますが、昨年と比べて432万7千円の増額ということでございます。これにつきましては湯元館のボイラーですね。平成3年以来平成13年に更新しましたが、今年度もボイラーの更新を計画しております。財源は温泉管理事業として一般財源の使用は考えておりませんが、湯元館もオープン以来施設の老朽化が顕著になってきておりまして、ご承知のとおり大屋根の修繕とかをやっております。エイトの方からも大規模修繕か建て替えの希望がでておりまして、その辺の話は今並行してやっておりますけど、ボイラーが止まるということ

になりますと温泉自体が営業できないということになりますので、今年度のところでボイラーの交換を行っていきたく思っております。あとは温泉の観光地のことですが、これにつきましては昨年と同様の額を予算要求しております。ちょっとまた戻りますが、益田暮らし推進事業費として394万8千円の予算をしております。これは平成27年から29年までの3か年の事業でございます、このあと今日来ています河野コーディネーターの方からこの一年間の振り返りということで、資料をお配りしていますが、29年度が最終ということで今考えておまして、地域の情報発信それから地域に具体的にUターン、Iターンを呼び込む施策、地域資源を生かした交流人口の拡大ということでの3か年計画でやっております。活動状況を見ながら今後の対応は十分考えていきたく思っております。特徴的なこと。また、特にお伝えしないといけないことについては以上だと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

あと、お手元に柚子ゼリーが置いてあります。みなさんご承知かと思いますが、益田産柚子を使った柚子ゼリーが商品化になりました。このパッケージで200円ということでございまして、三菱食品さんが地元との関係で作らして、以前かむかむ柚子ジンジャーというのがあったと思いますが、ああいった形で、美都の柚子ということで商品化になったものでございます。今回の商品については夏場に向けたゼリー商品ということで、聞くところによりますと、全国で2か所の地域と連携して商品化したということで、一つはJAしまねの柚子酢。もう一つはJA千葉のメロンの果汁ということで、東と西といくくらいに分けてされたようで、さまざまところがプレゼンなどをして最終的に残ったところですので、私どもとしては喜んでおまして、これは全国発売の商品でございます。益田とか美都とか書いてございますので。キヌヤでは選考発売していますが、4月24日には全国発売ということで考えてございますので、ぜひこれを買っていただけたらと思います。町内では道の駅サンエイト美都で販売をしますのでよろしくお願いいたします。

(事務局)続いて教育委員会美都分室の方でございますが、約1億6千6百万減額をしております。分室では主に3地区公民館の運営経費と学校給食共同調理場の運営経費となっております。この減額につきましては美都調理場の整備事業が終わりましたので、この部分が減額となっているところでございます。給食調理場の方はご承知頂いておりますように1月から稼働しておまして、今のところ遅れることもなく、順調に作業が進んでいる状況でございます。今年度はこの学校給食調理場だけではなく、調理場を活用した多目的利用を考えながら進めていきたいと思っております。その運営経費として上がっております。分室の方は以上でございます。

裏面をご覧ください。こちらが住民福祉課の予算でございます。全体的には2億2千9百21万7千円の増とはなっておりますけれども、これは新年度庁舎の耐震化工事を予定しておりますので、この部分の増となっているところでございます。全体の中で主なところといたしまして、今申し上げました美都総合支所の耐震化工事でございますが、こちらが起債と国の方の資金をいただきまして、2億3千189万3千円でこの庁舎の工事を予定しております。時期的には予算がとおしまして4月に入札しまして、5月の終わりごろから工事に入るのではないかと考えています。終わりが30年の3月を予定しておりますが、その間いろいろとご迷惑をおかけす

ると思いますが、4月に入りまして、詳細は広報等でお知らせしたいと考えております。全体的には庁舎の管理経費が多いのですが、大きいところで、高齢者福祉施設の管理経費のところでは178万9千円の増額となっております。こちらは町内の福祉施設のデイサービス美寿苑、春日荘の建物が老朽化しておりまして、この中の機器が修繕の域に来ておりますので、この修繕に値しますリース料が上がっているということがございます。一番下の秦佐八郎博士没後80周年記念事業費でございますが、今年度54万というところで計上しております。こちらは平成30年が秦博士の没後80年にあたりますので、この事業を開催するにあたりまして、今年度実行委員会を設立しながらどういう風に進めていくかというところを協議を進めていきたいと考えているところでございます。ほかの事業につきましては例年通りと少し予算が下がっておりますけど同じような事業で進めていくところでございます。住民福祉課と教育委員会美都分室の方は以上でございます。

(事務局) それでは建設課の方を説明いたします。29年度予算ですが、1億2千782万4千円ということで、昨年と比べますと300万円弱増額という予算を組んでいるところでございます。特徴的なところだけ説明させていただきます。まず中間あたりに道路維持補修費ということで前年と比べますと280万程減額ということなんですけど、これにつきましては保有している除雪車が3台ありますが、今年度3台とも車検をしておりますので、来年度車検がないということで、ここで50万くらい違うということと、維持補修の方で計画的に側溝整備等をやっているのですが、それは交付金事業で対応している部分であります。例年300万程度予算化しながらやっている事業ですが、4段下がったところに橋梁整備交付金事業というのがありまして、これは何かといいますと、町内に架かっている橋を全部5年のサイクルで点検をしていくということで、これは義務付けされております。それで今年度につきましては8橋を業務委託計画していますが、業務委託に出す強度点検につきましては橋梁点検者、橋の上から車の荷台にゴンドラがついている橋専門の車両なんですけど、それを活用して点検しなければならないということで、ここへ先ほどの維持補修費の側溝整備をやっていたところを下げたこちらの方を150万ほど増額するという状況でございます。それと道路維持補修費の下に道路整備交付金事業、もう一つ下に過疎道路整備事業というのがありまして、これは道路改良などの事業費であります。昨年は道路整備交付金事業1395万ということで、28年度の予算につきましては起債等の単独による道路改良は予算化できないということで、今町内で改良を進めているのが、丸茂三隅線それから大峠線、八坂線の三路線は今日まで市の単独事業ということで進めておりました。そのため、28年度は予算化ができなかったということで、ここで交付金事業と過疎道路整備事業ということで二つが上がっておりますけども両方とも交付金という国庫補助を利用した事業ということで、従来の過疎債の活用そのものについては過疎道路整備事業ということで名称を挙げているところであります。従いまして、このところで、昨年度予算がゼロのところ、もしくは少なかったところについて増額されているというのが、300万程度増額されているというのが要因でございます。それから下に下がっていきますと益田川ダムの周辺環境整備ということで、これはひだまりパークみとの管理委託料ということで、29年から33年度まで5年間引き続き指定管理で業務をお願いするというになります。この辺の委託料につきましても108万円を予算計上しております。それから最後から2番目、矢原川ダム水源対策事業交付金事業ということで、これは矢原

川ダムの関連事業で今年度考えていますが、飲料水と市道丸茂三隅線、この辺がもともとダムの影響があるかないかといわれていたのを下流の 500 メートルについて調査設計してルートを決定をするということで、本年度予算化するところがあります。主なことは以上でございます。

(会長)何か質問、ご意見等ありませんか。

(事務局)一点だけよろしいですか。地域づくり推進課のところでふれあいホールの維持管理経費についてですが、実はオープンして 20 周年にあたりますので、限られた予算の範囲ではありますが、利用者のご負担をいただきながら何らかの形で、20 周年記念ということでイベントも考えておりますので、秋ごろに予定をしております、林家木久扇さんの関係をお呼びいただくと計画しているところがございます。

(委員)自治会交付金は変わったのですか。

(事務局)全体的には変わっていません。前回少し話をさせていただいたのですが、二川地域が 4 自治会から 1 自治会になったということで、会長手当の部分だけ減額をさせていただくこととしていますが、その他はまだ調整中ですので、変更はないです。

(委員)例えば今の話で、4 自治会が機能しない話があるから 1 自治会にしたら維持できたりするからなのか。そりゃあ人口割りとか世帯割りとかでやっていたら、一つにしてもなかなかおぼつかないし、壊滅するようになりますよね。それを会費で補えばいいじゃないかといわれても難しいですよ。私が二川のことをいうものなんですが、4 つが一つになった想いというのはさらに前向きにやろうという地域自治組織との関係もあると思いますし、だから一つにしたんだと。一つにしたからといって 20 万も 30 万も交付金が違うようじゃやっつけられないという前提がありますよ。今後自治会長が一人になったから会長手当は一つでいいかもしれませんが、これ以外もこれから減額していくのですか。

(事務局)昨年何回か話をさせていただいていますが、これから調整に入るところです。なかなか皆さん全員が納得いただけるような調整にはならないかもしれませんが、今年度のところで今後の方向性を見出したいと考えていますので、よろしくお願いします。

(会長)いずれにしても合併調整が残っていますので、今から新しい制度を考えようということなので、そのところで、今できるだけ意見をいただかないと。

(事務局)自治会交付金は旧益田は補助金で美都は交付金なので、なぜ一つにならなかったのかというと単なる面積と世帯割りだけの補助金なので、やはり美都地域にはそぐわないということで美都は歴史的に交付金の制度がありましたので最初から一緒にはできないということで、新たな制度を作るということで折り合ったのですから、それはやっていかないとはいけないんじゃないかと思います。まあ、土

佐さんが言われたように思っていますので。ただ、一長一短があるし、どれがいいのかというのが難しい。それは益田で考えれば人口と世帯割りで考えるのが一番良いですがね。ただ、益田の人口も千人とか500人とか区切りがあつてその境目にあるところは一人二人基準に足りないからといって額が変わるのはどうかとも思いますし。交付金の在り方は考えないといけないと思っていますが、最終的には情勢的には美都の言うことにはならないということをご理解いただかないといけないという風に思います。

(委員) 少ない立場で意見を言わずにいたら・・・多いところは意見なんか言いません。

(事務局) 広兼委員が言われたようになんでこんなことをするのかというのが議会を含めた大勢の意見でございまして、時間を置けば置くほど美都が不利になるという状況もあるということで、これ以上おいてはおかれたいという状況にあるということです。自治会交付金のことについてはそういった状況です。こちらの予算を見ていただいたらわかりますように先ほど松崎課長が言いましたように道路の維持管理費を落として別の事業に回したということですが、市の全体の予算総額が決まっていますので、各々の部単位で配分してきますので、どこかを増やすならどこかを減らさないとできないということが出てくる。なおかつ10年来シーリングということで事務的経費は除きますが、他の一般財源で自由に使えるというところは全部マイナスになってきていると。議会の答弁ではこういう言い方はしないですが、実際にはシーリング枠に収めるために無理して予算を削減しているというのが現状でして、新年度でしたら、庁舎の清掃ですとか窓口においていた新聞とか全部なくなりますし、等々そういったところまで切り詰めないといけなくなったと。美都支所の場合は事業が少ないですから事業が多いところは調整枠がいくらかありますが美都支所はその調整が厳しいというのが現状でございます。

それと、学校給食のことがありましたが、こないだも暖暖サロンということで、地域の方に給食を試食していただきながら食事と健康づくりということを取り組みしてもらったりしているのですが、そういうふうに学校給食の場所を使いながら地域の方でも健康づくり食育を合わせて地産地消を進めていく。まあ、量的には少ないので、小さいところから進めていくので大きな経済的な効果が出るわけじゃないのですが、そういったことを積み重ねていかなないとなかなか動きが出せないというところがありますので、地域や自治会、事業所などでもこういったのがあれば対応できるときには検討したいと思っています。せっかく総合支所があつて、地域協議会がありますので、地域の方の期待に応えられるようになっていかなないといけないのですが、予算につきましてはご覧になっていただいたとおりでございます。予算が膨らんでいるように見えるのは庁舎の耐震化工事のためで、その他は前年と比べるとやはり縮減になっている状況です。新年度早々元気になる話になればいいのですが、申し訳ないです。

(委員) 双川峡工事の件ですが、取り掛かりがずいぶん遅いような気がするんですが、それでも駐車場から橋を渡って法の部分を今年進められるわけですね。そこが唯一の美都の観光地でもないですけど全体が仕上がって観光できるのはいつ頃ですか。

	<p>(事務局) 大体 2 億 5 千万くらいの予算を組んで財源は国の交付金と合併特例債を使っているんです。一般財源はそれほど使わないような予算付けをしていますが、起債の制限とかがあって、今全体の 1 億くらいしか通していないんです。予算規模でいえば大体半分くらい。もともとは平成 30 年には終わるということだったのですが、財源の確保が非常に難しいというのもある、もう少し後回しになるのではないかと考えています。今年やるのは駐車場から花壇みたいなどの法面をやるということで、あそこが通れるようになればそこから橋を渡ってその辺までは部分開放ができるし、秋の行楽シーズンだけ解放とかの季節的なこととか考えないといけないかなあとは思っていますが、いずれにしても現地は足場も悪い状態です。もしやれば 5 千万とか大きな額をつけないといけません。1 千万くらいの小さい工事をやっているようではなかなかからちがあかないところですよ。</p>
<p>・支所の在り方について</p>	<p>(会長) それでは予算については以上で終わります。次に支所の在り方について</p> <p>(事務局) 今回資料 2 の方で昨年の 12 月と今年の 2 月に支所のあり方ということで、皆様にご意見をいただいたところです。その中でいただいたご意見を今回出させていただきました。前回は 5 人で少なかったところもありますので、皆さんにお示し、今後この在り方については協議をしていかなければならないと考えていますので、参考ということで見ていただけたらと思います。今日のところで、支所のあり方についてご意見がありましたらお聞きをしたいと思っておりますけど今後の協議の材料として確認いただきたいと思っています。</p> <p>(会長) この件について 2 回話を出していただいていると思いますが、また、改めて協議をしていくということになるかと思っておりますので、参考にさせていただきたいと思っております。</p> <p>(事務局) 前回のところで支所長より少し話があったかと思いますが、行政サイドとして地域の特色を活かして、こういうような形で進めていくということもお示ししながら協議をしていかないといけないかなと思っておりますので、ご意見を参考にしながら何らかのお示しをしながら 29 年度中に協議をさせていただきたいと思っております。</p> <p>(会長) いずれにしても皆さんからの意見は市としてどうしたいんだということを出してほしいということもありましたので、そういうこともいずれ協議されると思っておりますので、お願いしたいと思います。</p> <p>それでは次の各課の報告事項に入りたいと思います。地域づくり推進課をお願いします。</p>
<p>・地域づくりコーディネーター活動報告</p>	<p>(事務局) 資料 3 地域づくりコーディネーター活動報告を河野コーディネーターにやっていただこうと思います。河野君につきましては昨年滝川コーディネーターに代わってということになりますが先ほど予算のことを言いましたが、平成 29 年度が最終年度ということになっています。このコーディネーターにつきましては本庁では人口拡大課に一人。今地域づくり推進課に一人。匹見の地域づくり推進課に一</p>

人ということで、旧三地区に各々1名ずつ配置をしています。各三地区とも特色をもった活動をやっておりまして、今日は1年の活動報告ということでお時間をいただいで発表しますので、よろしくお願ひします。それでは河野君お願ひします。

(コーディネーター)それでは平成28年度の年間事業報告と活動報告をさせていただきます。まず3ページ目ですが年間を通じて取り組んだ事業ということで、情報発信、交流人口の拡大、定住対策、特産品等の班の拡大、集落対策、地域資源の確立をさせていただきました。

次のページをご覧ください。まず、情報発信ですが、SNSソーシャルネットワーキングサービスを活用した情報発信を行いました。これはフェイスブックを利用して、みとっこ暮らしとして情報発信しています。主な情報発信ということですが、これは美都町の地域で起こったことと地区外で起こったイベントなども発信しています。また、美都町の地域資源、さくらや柚子、美都温泉、石見神楽などのイベントや行事を発信しています。また、美都町の地域や団体で活動されているおたふくさんとか李原さんとかは広島の島根フェアとかでも出店されていますので、そちらの方も情報発信しました。平成28年の4月1日から3月24日現在まで、計154回発信しました。

続いてマスメディアへの美都町の情報発信ということで、こちらはFMラジオとテレビを通しての美都町に関する情報発信をお手伝いさせていただきました。下の写真は実際にFM山陰ラジオに出演しまして、その時はちょうどいちごボランティアの時期と重なってしましたので、いちごボランティアの宣伝とその時の美都の旬な情報ベスト3ということで、紹介をさせていただきました。隣にあるのが、ひとまるビジョンの西本あつこ先生の地産地消番組「ますますおいしい」こちらにゲストとして出演しまして、柚子の商品を使った料理の紹介ということで試食と紹介をしました。これ以外は丸茂のほんもろこ。所さんの目がテンと木久扇師匠の別荘が紹介されたのがありますが、そちらにも取材に同行してSNSを使って情報発信をしました。

続きまして、交流人口の拡大ということですが、こちらは美都町と都市間の交流事業のお手伝いをさせていただきました。毎年行っているいちごボランティアと柚子収穫ボランティアホリデーのパンフレット作成から当日までの受け入れの準備等をさせていただきました。今回いちごボランティアに関しては、参加者が6名。大阪から2名、広島から4名の方が参加されました。柚子収穫ボランティアホリデーにつきましては大阪から1名、広島から3名の方が参加されました。真ん中の写真ですが、これは前任の滝川さんが東京から学生団体、適当塾さんが丸茂に来られまして、丸茂の営農組合さんと一緒に稲作体験されました。5月と10月に来られた時の受け入れ支援をさせていただきました。

続きまして、下の美都町の魅力と再発見と新規交流事業の支援ということで、こちらは島根いなかつーリズムと石見という、江津を拠点としています石見の力という地域の体験プログラムを集めたものを出している団体さんがあるんですが、こちらに美都町でできる地域プログラムということで下のプログラムを提供しました。左側の島根いなかつーリズム親子キャンペーン2017。これは先週の3月18日に二川の地区振興センターの方で蓬の会さんにお手伝いいただきまして、蓬のおやき作りを行いました。こちらは参加者が6名で津和野から4名、金城町から2名の方が親子で参加されました。今週26日に東仙道と都茂地区で都茂鉦山を散歩するというプログラムがあるんですけど、今のところ参加者がいらっしやらないので、どう

なるかわからない状況です。隣にあるのが石見という地域プログラムですが、こちらでは都茂鉦山と城山桜周辺の歴史散策ということで、都茂地区直進会の久保さんをお願いしまして、約 10 名の方が参加されました。

続いて次のページをご覧ください。こちらは美都町内での地域の情報を集めるということでイベントを開催しました。それは定期的に実施したのですが、29 日の肉の日ということにかけてまず最初にバーベキューを去年の 5 月に開催しました。この時は都茂地区で実施したのですが、この時は都茂地区と東仙道、二川からも参加いただきまして、約 30 名の方に参加していただきました。今まで全 4 回行いましたが、第 2 回が 8 月 5 日に東仙道で同じことをしまして、こちらも約 30 名の方が参加しました。続いて 10 月 29 日に実施しまして、20 名の参加。第 4 回が 1 月 29 日にふれあいホールの方で、その時は企画を変えてみようということで、体を動かすこととご飯を食べて地域の方との交流を深めようということで、神経衰弱と鍋の会ということでさせていただきました。こちらはひとまるビジョンさんと山陰中央新報さんがこられまして、取材を受けて新聞にも取り上げていただきました。地域の方が交流する場ということで企画をしたんですが、若い世代も来られますので、今後も継続して行いたいと思います。

続きまして、第 3 の定住対策につきまして、こちらは県外の UI ターンフェアに実際に参加してきました。去年の 9 月 10 日に広島であった島根 UI ターンフェアには UI ターンの先輩という形で参加させていただきました。当日益田への相談者は 12 名いらっしゃいまして、実際に益田の出身者であるとか、全く別の出身者で益田での農業就農希望者であったり友達が住んでいるからという方もいろいろと相談を受けました。今、益田市に対する定住の割合ですが、I ターンより U ターンの方が多いため、今年 1 月、2 月に東京の UI ターンフェアの方で開催されたのですが、こちらでは 20 代から 30 代の若い方が U ターンを希望しているという話があったので、今後もフェアの方で美都町の紹介を行っていきたくと思っています。

続きまして、定住対策の体験のための施設として美都町での暮らしを体験できる場所として体験プログラムを事業として行いました。左側にあります民泊と体験プログラム説明会というのを 9 月に実施予定でしたが、なかなか参加者が集まらず説明会自体は催行しませんでした。しかし、2 名ほどこちらに興味を持っていただいた方がおられまして、内 1 名の方は実際に定住に関わるふるさと島根定住財団の担当者の方と一緒に自宅に訪問して、徐々に民泊とかをやってみようかなということで今お話を聞いているところです。

隣にあるのが、空き家バンクですが、美都町の空き家バンク登録件数というのが、実際に 6 件ありまして、去年も何件か空き家バンクに登録された家に入られています。この空き家を使って何か事業ができないかなと思案しておりまして、美都町のお試し住宅といったような定住の希望者が入れる家というのが少ないように思っています。これは益田市内と匹見町ではこのお試し住宅というのがあるんですけど、美都町にはないということで、もし空き家を利用してきてその方たちが 1 週間なり 1 か月なり生活できるというものを今検討しているところです。これは来年度引き続き進めていきます。

続きまして、特産品等の販路の拡大についてですが、こちらは美都町の特産品を都心部への紹介と実際に自分も都市へ行って商品の販売支援活動を行いました。左側の写真ですが、これは大阪の ABC ラジオの柴田ひろしのほたる町旅行者ということで、去年実際に大阪に住んでいた時の知り合いをお願いしまして、城

山桜まつりを紹介しました。その中の視聴者プレゼントということで、10名の方にゆずっこを提供しました。

次に隣にありますのが、益田市と姉妹都市の大阪高槻市に行きまして、姉妹都市交流事業に参加をしました。この時は天気も非常に良かったので、来客数も多くなり売れました。次のページをご覧ください。集落対策ということで、各地区の振興センターに行事またはイベントの投稿支援をさせていただきました。こちらは都茂地区、仙道地区、二川地区で運動会のお手伝いとか子供たちの通学合宿の手伝いなどをさせていただきました。その他には文化祭の支援もさせていただきました。

続いて6の地域資源の発掘と利用ということですが、こちらは美都町に既存する観光や伝統文化の継承の支援ということで、石見神楽の伝統文化の支援を行いました。美都町には子供神楽も含めて4つありますので、そちらもSNSで宣伝活動を行い、今どこの社中さんも言われるのが、団員が少なくて困っているということで、美都町内含め外からの団員も募集しております。隣の写真ですけど、こちらは都茂地区振興センターで行われた神楽面作りの様子です。こちらは神楽面をつくるのと神楽鑑賞をセットにした体験プログラムというのをやってみたいというのがありまして、自分が実際に神楽面を作るのと教えていただくということで、今進めております。

続きまして、地域資源の発掘と利用ですが、こちらは美都町の柚子畑の再生支援をしました。高齢化が進んで柚子畑に入らなくなったということだったので、畑の草刈りから収穫までの作業を行いました。こちらは定住者や移住者のための今後の地域体験ということで、こちらも引き続きやっていければと思っています。今年も柚子収穫ボランティアを行ったのですが、収穫だけのシーズンだけではなくて、四季を通しての体験ということで、できないか検討していきたいと思います。

7番のその他のところですが、こちらは自分の知識をつけたいということで、勉強会に参加しました。島根県はグリーンツーリズムといって地域の資源を使った体験というのを進めているところなので、実際に島根県内でも地域がどのような活動をしているかということも勉強しました。一番最後のページですが、行政と地域団体との連携ということで自分が所属している地域づくり推進課や地域団体、企業さんと連携をとりながらイベントなどの活動を行いました。去年のいちご祭りは400名ほどの参加者がおられまして今年も4月にどれくらいの方が来られるのかなと思っています。これ以外にはほたる祭りやいななライドの手伝いの方も行わせていただきました。一年を通してということですが、実際に美都町という地域を好きじゃないと自分の立場ではできないなというのが正直なところで、自分から見た視点、人から見た視点をいろんなところで発信できたらいいなと思ったところです。来年度に向けて地域体験プログラムを増やして、移住者の定住に向けての取り組みにできたらと思っています。貴重なお時間をいただきました。ありがとうございました。

(会長)ありがとうございました。皆さんの方からご質問等ありませんか。

(委員)すみません。年間いろいろ活動されてお疲れ様です。美都町のいいところ、悪いところ、をお聞かせください。

(コーディネーター)僕は自分が育った町というのがありますけど、僕はUターンで

帰ってきて、皆さんいろいろと声をかけてくださるというか、気をつかってくださるというのがすごく伝わっています。それは都会ではないことで、本当に隣に住んでいる人の名前すら当時は知らなかったですし、仕事や友達以外で人と関わることが少なかったですが、今は地域の方と関わることが多くて、すごく楽しいなと思っています。悪いところは若い人が地域に信頼を持っていない。若い人は好き嫌いがあるのかなと思います。興味があることには顔を出すけどそれ以外は関わらない。もしくは人と協力するというのがあまり好きではないのかなあ。それができれば上の方を見て若い人は育っているんで、いろいろ物事を吸収できると思うので、そういう機会も増やしていければと思います。以上です。

(会長)UIターンはUターンが増えているのかね。Uターンといっても親のところに帰るのではなく美都町へ帰るのが多いのかな。

(コーディネーター)結婚されている方であれば自分で家を建てたりされるんですが、20～30代の独身の方が結構多いですね。その代り仕事ではスキルを持った方が多くて、また、益田に帰って自分で事業を起こしてみたり、そういう考えの方もいらっしゃるようです。いま、Iターンの方が江津市で起業するためにどういふことをこの町でしたいかというビジネスコンテストを毎年江津市が行うんですけど、そこは市と県が連携して、実際に起業するとなれば資金も必要になりますし、金融機関から融資しやすいように取り組まれているところもあります。今江津市はIターンUターンの一番面白い街になっているのかなあと自分は思っています。

(会長)Uターンの方の動機というのは・・・年取ったから帰るとか自分の仕事のきりがついたからとか、地元の内部企業に就職するとかですか。

(コーディネーター)そうですね、割と都会暮らしに疲れたというか別に都会じゃなくても仕事はできるんじゃないかという方が結構増えているようで、自分の地元町づくりをしたいという方が増えているのかなと思います。

(事務局)河野君には1年の活動を通じて手間をかけるだけでなく自分で仕掛ける、考えることが大事だと話しています。そういった意味では地域に溶け込んでいろいろなことをやってほしいという思いですので、また皆さんご支援の方よろしくお願ひします。

## 5. その他

(会長)引き続き頑張ってください。 それでは、その他ですが。

(事務局)全体を通して皆さん何かありますでしょうか。

(事務局)さっきコーディネーターの河野君の話は聞いたのですが、今までの委員さんのご意見を伺ってもこういった現状の中でもう少し支所としての考え方をもっと打ち出して、何を目標にしてやるのかということを作っていくとなかなか変わらないということを要望受けていると思います。今、こちらの方で考えておりますのもこれまで地域協議会からの提言書等も頂いているんですが、従来なら一次産業なら一次産業、商工なら商工という感じで単独事業なんかでも予算配分もあつたり

して、色々な事業ができていたのですが、今の現状の中では単独事業ではなかなか予算の獲得が難しい。やっといこうと思うと美都地域にある柚子とか温泉とかひだまりとか、地域に残っている文化とかをうまく組み合わせて、トータルな事業を組み立てして、そういった中で国の支援事業など財源を確保していきながら、一つは産業づくりですね。やはり定住の根底は産業ということになりますので、仕事を作るイコール産業を作っていくこと。もう一つは今のコーディネーターが言われましたように資源を活かしながら地域の体験、地域の方々と作っていきながら美都地域の価値をあげていくという両面が必要になってきていると思います。優先順位を決めながら集中してやっといって次の動きが出てくるような形にしていかなければいけないかというふうには思っています。今の話は非常に抽象的な話ですので、それを具体的に何と何の事業を組み合わせてという格好で、事業計画を作って提示していければいいなと思っています。そういったものに対して、地域協議会の委員の皆様には色々ご意見をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それから、もう一点。冒頭に会長さんからもございましたけども、地域協議会の委員の皆様の任期が3月31日でございます。再任していただけるというお方と、田中宜様の方は退任したいということでございましたので、そちらは後任の方の人選を行っているという状況でございます。辞令については次回の地域協議会でお渡しさせていただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。2年間ということでございましたが、大変ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

(事務局)先ほどの予算のところでお話ししなければならなかったのですが、来年度の地域協議会は年4回を予定しています。4回ですので、なるべく市長においていただいて皆さんとの協議なり意見交換をしていただけたらと考えております。今回は5月上旬を予定しております。皆さん2年前のことを覚えていただいているかと思いますが、最初に会長の選任というところで、今回は選挙をしていただきました。立候補があれば受け付けますけどなければ選挙をさせていただきたいと思っております。そのあと2時頃に市長より新年度の施政方針を説明いただいて、意見交換をしたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(支所長 退職のあいさつ)

## 6. 閉 会

(会長)それでは皆様方には大変お忙しいところありがとうございました。引き続きということでございますので、どうかよろしくお願いいたします。前回は申し上げましたが、加藤支所長さんには大変お疲れさまでございました。退職でございますので、どうか健康に気を付けて立場を変えてお手伝いいただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

以上で本日の協議会を終わります。

— 午後 3 時 25 分終了 —

第 66 回地域協議会の顛末を記載しその相違ないことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

議事録署名者

同